年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用）　教科　国語　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A 組～　G 組

教科担当者：（Ａ組：谷合）　（Ｂ組：佐久間）　（Ｅ組：佐久間）　（Ｆ組：佐久間）　（Ｇ組：谷合）

使用教科書：（　高等学校　言語文化（数研出版）　）

教科　国語　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態

科目　言語文化　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	『つれづれなるままに』 『ある人、弓射ることを習ふに』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を読み味わい、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文を読み味わい、内容を理解する。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	『平家物語』 『木曽の最期』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を読み味わい、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文を読み味わい、内容を理解する。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
2学期	・中島敦 『山月記』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を理解し、自分なりの意見を持つことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文の内容を読み味わい、言葉にできる。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。 ・本文中の語句を利用して作文することができる。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	・武田綾乃 『側転と三夏』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を理解し、自分なりの意見を持つことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文の内容を読み味わい、言葉にできる。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。 ・本文中の語句を利用して作文することができる。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
3学期	『狐借虎威』 【知識及び技能】 漢文の基本的な読み方を修得する。また、使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容を理解し、何が読み取れるかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について深く考え、言葉にすることができる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・漢文の基本的な読み方を修得している。 ・本文中の語句の意味を理解している。 ・本文の内容について考えたことを言葉にできる。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1

令和7年度　年間授業計画

都立多摩工科高等学校

教科	国語	科目	国語演習（基礎）	単位数	2
対象学年・組	３学年選択				
教科担任	佐久間				
教科書・副教材	国語必携パーフェクト演習「尚文出版」				

１．目標

① 言語能力（漢字・ことば）の基礎・基本を定着させる。
② 進路活動に向けて、試験や面接に対応する能力を身につける。
③ 論旨を整理して文章を書く能力を身につける。

２．学習内容と学習上の留意点

学期	月	単元	学習の内容・留意点	予定時数
1学期	4	・漢字の読み書き、ことわざ ・原稿用紙の使い方、小論文	・テーマをもとに作文を書き、原稿用紙の使い方について、自身が正確な知識を持ち、実践できているかを確認する。	4
	5	・漢字の読み書き、ことわざ ・原稿用紙の使い方、小論文	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・作文と小論文の違いを理解し、適切な原稿用紙の使い方を習得する。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解し、段落構成を意識させた、小論文の記入法を指導する。	4
	6	・漢字の読み書き、ことわざ ・段落構成、書き言葉		6
	7	一般常識問題、就職試験対応問題、小論文指導	・自分の進路に合わせたテーマ・課題に従って，具体的に記述練習することで就職試験に備えた力を身につけさせる。	2
	１学期予定授業時数			16
2学期	9	一般常識問題、就職試験対応問題、小論文指導	・自分の進路に合わせたテーマ・課題に従って，具体的に記述練習することで就職試験に備えた力を身につけさせる。	6
	10			6
	11	・漢字の読み書き、ことわざ ・手紙の書き方	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・手紙の書き方や、社会人として必要な一般常識を身	8
	12	・敬語表現	・敬語表現について学び、社会人として必要な一般常識を身に付けさせる。	2
	2学期予定授業時数			24
3学期	1	・漢字の読み書きことわざ ・連絡文の書き方	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・状況に即した文章の書き方を実践的に身に付けさせ	6
	2			6
	3			4
	3学期予定授業時数			16
年間授業時数合計				56

３．評価の観点及び方法

（１）小テスト
（２）提出物
（３）授業態度　①発言　②参加　③出席状況

令和7年度　年間授業計画

都立多摩工科高等学校

教科	国語	科目	国語演習（標準）	単位数	2
対象学年・組	３学年選択				
教科担任	谷合				
教科書・副教材	国語必携パーフェクト演習「尚文出版」				

１．目標

① 言語能力（漢字・ことば）の基礎・基本を定着させる。
② 進路活動に向けて、試験や面接に対応する能力を身につける。
③ 論旨を整理して文章を書く能力を身につける。

２．学習内容と学習上の留意点

学期	月	単元	学習の内容・留意点	予定時数
1学期	4	・漢字の読み書き、ことわざ ・原稿用紙の使い方、小論文	・テーマをもとに作文を書き、原稿用紙の使い方について、自身が正確な知識を持ち、実践できているかを確認する。	4
	5	・漢字の読み書き、ことわざ ・原稿用紙の使い方、小論文	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・作文と小論文の違いを理解し、適切な原稿用紙の使い方を習得する。	4
	6	・漢字の読み書き、ことわざ ・段落構成、書き言葉	・書き言葉と話し言葉の違いを理解し、段落構成を意識させた、小論文の記入法を指導する。	6
	7	一般常識問題、就職試験対応問題、小論文指導	・自分の進路に合わせたテーマ・課題に従って，具体的に記述練習することで就職試験に備えた力を身につけさせる。	2
	１学期予定授業時数			16
2学期	9	一般常識問題、就職試験対応問題、小論文指導	・自分の進路に合わせたテーマ・課題に従って，具体的に記述練習することで就職試験に備えた力を身につけさせる。	6
	10			6
	11	・漢字の読み書き、ことわざ ・手紙の書き方	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・手紙の書き方や、社会人として必要な一般常識を身	8
	12	・敬語表現 ・ディベート	・敬語表現について学び、社会人として必要な一般常識を身に付けさせる。 ・自分の主張を論理的に話せるようにする。	2
	2学期予定授業時数			24
3学期	1	・漢字の読み書きことわざ ・連絡文の書き方 ・プレゼンテーション	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・状況に即した文章の書き方を実践的に身に付けさせる。 ・自分の提案を聞き手に興味を持って聞いてもらう術を身に着けさせる。	6
	2			6
	3			4
	3学期予定授業時数			16
年間授業時数合計				56

３．評価の観点及び方法

（１）小テスト
（２）提出物
（３）授業態度　①発言　②参加　③出席状況

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 社会・公民 科目 公共

教　科：　社会・公民　　科　目：　政治・経済　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3　学年　A・B・E・G 組

教科担当者：　・G組・青柳将也　B・E・前川信

使用教科書：　高等学校　政治・経済　【第一学習社】　）

教科　社会・公民　の目標：

【知識及び技能】　広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】　人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、思考力、判断力、表現力等を育成することを目指す。

【学びに向かう力、人間性等】　現代社会が抱える諸課題について主体的に学び、考え、自らのキャリアに生かそうとする姿勢を育成することを目指す

科目　政治・経済　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	A 持続可能な社会づくりの主体となる私 【学びに向かう力、人間性等】 ニュースを主体的に収集し、そのニュースを通して社会課題を見出だして考察した結果や自らの考えを、積極的に発表・説明することができるようにする。	・一人１台端末の活用 （毎授業の導入に位置づけ） ○ニュースを読む、活用する、考察する、共有する	【主体的に学習に取り組む態度】 地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ 主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述することに対し、積極的に取り組むことができる。			○	0
	B 法的な主体となる私たち 【知識・技能】 憲法を最高法規とする「法の支配」を基にした法体系における適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、紛争の調停や解決を通して、基本的人権、権利、自由が保障・実現され、社会秩序が形成・維持されていくことについて理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 法や政治、経済など、現代社会の諸課題を関連付け、自ら率先して具体的な主題を設定し、様々な観点から多角的に捉えるとともに、解決に向けて事実を基に協働して考察したことを、論拠をもって表現することができるようにする。	・指導事項 ・教材、パワーポイント ・一人１台端末の活用　等 ○法とは ○基本的人権と公共の福祉 ○新しい人権 ○契約と消費者問題 ○司法制度 ○国民の司法参加	【知識・技能】 法や規範の意義及び役割，多様な契約及び消費者の権利と責任，司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会 の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 法，政治及び経済などの側面を関連させ，自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現することができる。	○	○		13
	C 政治的な主体となる私たち 【知識・技能】 政治や国際関係、安全保障など現代社会の事柄や課題を基に、より良い社会は、憲法の下で個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 法や政治、経済など、現代社会の諸課題を関連付け、自ら率先して具体的な主題を設定し、様々な観点から多角的に捉えるとともに、解決に向けて事実を基に協働して考察したことを、論拠をもって表現することができるようにする。	・指導事項 ・教材、パワーポイント ・一人１台端末の活用　等 ○日本の選挙制度 ○日本の政治 ○国会、内閣 ○地方自治、地方分権 ○国際社会の諸問題 ○領土問題 ○国際連合と国際平和 ○日本の安全保障 ○核兵器の廃絶	【知識・技能】 政治参加と公正な世論の形成，地方自治，国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役 割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 法，政治及び経済などの側面を関連させ，自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現することができる。	○	○		13
	定期考査			○	○		2
3学期	A 持続可能な社会づくりの主体となる私 【学びに向かう力、人間性等】 ニュースを主体的に収集し、そのニュースを通して社会課題を見出だして考察した結果や自らの考えを、積極的に発表・説明することができるようにする。	・一人１台端末の活用 （毎授業の導入に位置づけ） ○ニュースを読む、活用する、考察する、共有する	【主体的に学習に取り組む態度】 地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ 主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述することに対し、積極的に取り組むことができる。			○	0
	B 経済的な主体となる私たち 【知識・技能】 経済、労働、社会保障、国際経済など現代社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して、効率的な資源配分・市場経済を図り、活発な経済活動と個人の尊重の両立させることの必要性や国民福祉向上に向けた政府の役割について、理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 法や政治、経済など、現代社会の諸課題を関連付け、自ら率先して具体的な主題を設定し、様々な観点から多角的に捉えるとともに、解決に向けて事実を基に協働して考察したことを、論拠をもって表現することができるようにする。	・指導事項 ・教材、パワーポイント ・一人１台端末の活用　等 ○経済とは ○労働問題 ○経済発展と技術革新 ○企業の活動 ○市場経済 ○経済成長と国民福祉 ○金融のはたらき ○財政と租税 ○社会保障 ○国際分業と国際貿易 ○国際金融と為替 ○経済のグローバル化 ○国際経済の諸問題	【知識・技能】 職業選択，雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働き，経済のグローバ ル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。） などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 法，政治及び経済などの側面を関連させ，自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現することができる。	○	○		13
	定期考査			○	○		1
							小計 42

年間授業計画

高等学校 令和７年度（３学年用）　教科　地理歴史　科目　歴史総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　　Ａ・Ｂ・Ｅ・Ｆ・Ｇ組

教科担当者：　　（Ａ・Ｂ・Ｅ・Ｆ・Ｇ組：南山）

使用教科書：（　明解　歴史総合　（帝国書院）　　）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　歴史総合　の目標：　社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代史の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代史の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「歴史と私たち」 【知識及び技能】 私たちの生活や地域などに見られる諸事情を基に、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史の変化と関わらせて、身近な地域の諸事情と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な地域の諸事情と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について主体的に学ぶ。	・お茶から見る日本と世界の歴史 ・食文化から見る日本と世界の歴史 ・身近な史跡から見る日本と世界の歴史 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事情を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、身近な地域の諸事情と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な地域の諸事情と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について主体的に学んでいる。	○	○	○	5
	「欧米諸国の近代化と国民国家形成」 【知識及び技能】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのかに着目して、比較したり関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのかについて興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・イギリスの革命とアメリカの独立 ・フランス革命、国民意識の芽生え ・産業革命とイギリスの繁栄 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのか理解する。 【思考・判断・表現】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したかに着目して、比較したり関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したかについて興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	「アジア諸国の動揺と日本の開国」 【知識及び技能】 日本の開国について、アジア諸国の動揺や欧米諸国との関係と関連付けながら理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の開国について、アジア諸国の動揺や欧米諸国との関係と関連付けながら多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア諸国の動揺や欧米諸国との関係と関連付けながら、日本の開国について興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・ヨーロッパの日本接近と東アジア ・黒船の来航と日本の対応 ・新体制の模索と江戸幕府滅亡 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 日本の開国について、アジア諸国の動揺や欧米諸国との関係などと関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 日本の開国について、アジア諸国の動揺や欧米諸国との関係と関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア諸国の動揺や欧米諸国との関係と関連付けながら、日本の開国について興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

2学期	「近代化が進む日本と東アジア」 【知識及び技能】 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定を基に立憲体制と国民国家が形成される過程と日清・日露戦争を経た国際秩序の変容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本における立憲体制と国民国家の形成過程と国際秩序の変容について、国際関係や帝国主義と関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本における立憲体制と国民国家の形成過程と国際秩序の変容に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・新政府の誕生 ・近代国家を目指す日本 ・日本と清の近代化と日清戦争 ・列強の中国進出と日露戦争 ・日露戦争が与えた影響 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 日本の明治維新や大日本帝国憲法を基に立憲体制や国民国家の考え方を理解し、日清・日露戦争による国際社会の変容について適切に理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の考え方や国際秩序の変容について、帝国主義政策やアジアに与えた影響などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定や、日清・日露戦争による国際社会の変容に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	「第一次世界大戦と日本の対応」 【知識及び技能】 第一次世界大戦の背景と展開について総力戦に着目しながら学び、大戦後の国際秩序の変化や大衆社会の広がりについても適切に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の背景と展開、大戦後の国際秩序の変化や大衆社会の広がりについて、資料を参照して多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦の背景と展開、大戦後の国際秩序の変化に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ・総力戦となった第一次世界大戦 ・ロシア革命と大戦の終結 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 第一次世界大戦の背景と展開、大戦後の国際秩序の変化や大衆社会の広がりについて適切に理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の背景と展開、大戦後の国際秩序の変化や大衆社会の広がりについて、資料を参照しながら多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦の背景と展開、大戦後の国際秩序の変化に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	8
	「日本の行方と第二次世界大戦」 【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策を基に国際協調体制の動揺について学び、第二次世界大戦の背景と展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開について、資料に基づいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・世界恐慌が与えた影響 ・ファシズムの台頭と拡大 ・政党政治の断絶と満州事変 ・日中戦争の始まり ・第二次世界大戦の展開 ・戦局の悪化と被害の拡大 ・第二次世界大戦の終結とその惨禍 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開について、適切に理解している。 【思考・判断・表現】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開について、資料を参照しながら多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
3学期	「冷戦で揺れる世界と日本」 【知識及び技能】 東西両陣営が各地に集団防衛機構を構築した背景と展開および冷戦構造が日本に及ぼした影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東西両陣営が各地に集団防衛機構を構築した背景と展開、および冷戦構造が日本に及ぼした影響について、資料に基づいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 東西両陣営が各地に集団防衛機構を構築した背景と展開、および冷戦構造が日本に及ぼした影響に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ・冷戦下における日本の復興 ・第三勢力の形成と脱植民地化 ・中東戦争とパレスチナ問題 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 東西両陣営が各地に集団防衛機構を構築した背景と展開、および冷戦構造が日本に及ぼした影響について、適切に理解している。 【思考・判断・表現】 東西両陣営が各地に集団防衛機構を構築した背景と展開、および冷戦構造が日本に及ぼした影響について、資料を参照しながら多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東西両陣営が各地に集団防衛機構を構築した背景と展開、および冷戦構造が日本に及ぼした影響に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科　地理歴史　科目　近現代史と人間の生き方

教　科：　地理歴史　　科　目：　近現代史と人間の生き方　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　３学年　Ａ・Ｂ・Ｅ・Ｇ組選択

教科担当者：　（Ａ・Ｂ・Ｅ・Ｇ組選択：南山）

使用教科書：（　明解　歴史総合　（帝国書院）　）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　近現代史と人間の生き方　の目標：　近現代史に対する歴史的な見方・考え方を働かせ、社会的事象と人間の生き方に関する諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代史の歴史の変化と人間の生き方に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代史の歴史の変化と人間の生き方に関わる事象の意味や意義などを、時期や年代、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史と人間の生き方に関する諸課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化と人間の生き方に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化、生き方の多様性を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「近現代史と人間の生き方に関する探究」 【知識及び技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・教科書 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	18
	「欧米諸国の近代化と国民国家形成」 【知識及び技能】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのかに着目して、比較したり関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのかについて興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・イギリスの革命とアメリカの独立 ・フランス革命、国民意識の芽生え ・産業革命とイギリスの繁栄 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したのか理解する。 【思考・判断・表現】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したかに着目して、比較したり関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の革命や産業革命が国民国家形成とともにどのように展開したかについて興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

2学期	「 近現代史と人間の生き方に関する探究」 【知識及び技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・教科書 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	18
	「近代化が進む日本と東アジア」 【知識及び技能】 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定を基に立憲体制と国民国家が形成される過程と日清・日露戦争を経た国際秩序の変容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本における立憲体制と国民国家の形成過程と国際秩序の変容について、国際関係や帝国主義と関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本における立憲体制と国民国家の形成過程と国際秩序の変容に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・新政府の誕生 ・近代国家を目指す日本 ・日本と清の近代化と日清戦争 ・列強の中国進出と日露戦争 ・日露戦争が与えた影響 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 日本の明治維新や大日本帝国憲法を基に立憲体制や国民国家の考え方を理解し、日清・日露戦争による国際社会の変容について適切に理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の考え方や国際秩序の変容について、帝国主義政策やアジアに与えた影響などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定や、日清・日露戦争による国際社会の変容に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	「 近現代史と人間の生き方に関する探究」 【知識及び技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を探究テーマに即して意味づけ考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・教科書 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 近現代史に関する探究テーマをみずから設定し、テーマに関して情報を適切な方法で収集している。 【思考・判断・表現】 収集できた情報を探究テーマに即して意味づけ多面的・多角的に考察し、考察した結果や自らの考えを適切に発表し、生徒同士で共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究テーマをみずから設定し、テーマに関してみずから情報を収集し、それらの情報と情報収集の過程に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	4
	「日本の行方と第二次世界大戦」 【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策を基に国際協調体制の動揺について学び、第二次世界大戦の背景と展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開について、資料に基づいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開に興味や関心を持ち、主体的に学ぶ。	・世界恐慌が与えた影響 ・ファシズムの台頭と拡大 ・政党政治の断絶と満州事変 ・日中戦争の始まり ・第二次世界大戦の展開 ・戦局の悪化と被害の拡大 ・第二次世界大戦の終結とその惨禍 教科書、プリント、一人１台端末	【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開について、適切に理解している。 【思考・判断・表現】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開について、資料を参照しながら多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策から第二次世界大戦に至る展開に興味や関心を持ち、主体的に学んでいる。	○	○	○	5 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3　学年　A 組　B 組　E 組　F 組　G 組

教科担当者：川畑　吉田

使用教科書：（ 高校数学Ⅱ・実教出版 ）

教科　数学Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

科目　数学Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
整式の乗法、因数分解、分数式、２次方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学的な活動を通して，複素数、解と係数の関係、直線や円の方程式における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えてる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	○整式の乗法・因数分解 ○分数式 ○複素数 ○２次方程式，解と係数の関係	○ (a+b)3 の展開や、a3 +b3 の因数分解。 ○分数式の約分・通分の四則計算。 ○数の範囲を拡張よる複素数の定義と、その四則計算。 ○複素数の範囲での２次方程式の解の求め方。 ○解と係数の関係の利用。	【知識・技能】 ３乗の展開式・因数分解の計算ができる。基本的な分数式の計算ができる。複素数の意味を理解している。基本的な２次方程式を解くことができる。解と係数の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 少し複雑な式の計算を工夫して行うことができる。複素数を利用して、さまざまの問題を工夫して解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題集やプリントの問題を積極的に解く姿勢がみられる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		2
2学期	○直線上の点の座標と内分・外分 ○平面上の点の座標と内分・外分 ○直線の方程式 ○２直線の関係 ○円の方程式 ○円と直線の関係	○直線上の２点間の距離や内分・外分点の座標を求め方。 ○平面上の２点間の距離や内分・外分点の座標を求め方。 ○直線の方程式の求め方。 ○２直線の交点の求め方。２直線の位置関係。 ○円の方程式を求め方。 ○連立方程式を用いた、円と直線の共有点を求め方。	【知識・技能】 内分・外分点を理解することができる。直線や円の方程式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 内分・外分点の考え方を利用して、様々な図形の線分の長さや座標を求めることができる。２直線や円と直線の関係を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題集やプリントの問題を積極的に解く姿勢がみられる。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		2
3学期	○不等式の表す領域 ○連立不等式の表す領域 ○軌跡	○領域の理解と、領域の図示。 ○連立不等式の表す領域を図示。 ○軌跡の意味の理解と、その方程式の求め方。	【知識・技能】 領域を理解・図示することができる。 【思考・判断・表現】 軌跡の意味を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題集やプリントの問題を積極的に解く姿勢がみられる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		合計 48

年間授業計画

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科　数学　　科目 数学Ｂ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ｂ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3　学年　必修選択

教科担当者：小山

使用教科書：（ Standard 数学B・東京書籍　　）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

科目　数学Ｂ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列・統計的な分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	数列 基本的な数列についての知識を身に付け、処理の方法を学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・基本的な数列の概念について理解していること ・等差数列、等比数列、階差数列などの種類を区別し、それぞれの性質を理解していること ・数列の一般項、漸化式、和の公式を理解していること ・数列の問題を解くための基本的な手法を身につけていること 【思考力・判断力・表現力】 ・数列の問題を解くために必要な情報を正確に把握し、必要な計算を適切に行えること ・問題解決に必要な仮説を立て、それを検証する思考力を身につけていること ・自分の考えを正確に言語化し、相手に伝える表現力を持っていること 【主体的に取り組む態度】 ・数学Bの数列に対する興味関心を持ち、授業や課外活動で主体的に学び取ろうとする学びに向かう力を持っていること ・問題に直面しても諦めずに解決するための粘り強さを持っていること ・自己成長や他者への貢献を目指し、自己の人間性を高めていこうとする志向性を持っていること	○	○	○	20
	定期考査			○	○		2
2学期	数列 基本的な数列についての知識を身に付け、処理の方法を学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・基本的な数列の概念について理解していること ・等差数列、等比数列、階差数列などの種類を区別し、それぞれの性質を理解していること ・数列の一般項、漸化式、和の公式を理解していること ・数列の問題を解くための基本的な手法を身につけていること 【思考力・判断力・表現力】 ・数列の問題を解くために必要な情報を正確に把握し、必要な計算を適切に行えること ・問題解決に必要な仮説を立て、それを検証する思考力を身につけていること ・自分の考えを正確に言語化し、相手に伝える表現力を持っていること 【主体的に取り組む態度】 ・数学Bの数列に対する興味関心を持ち、授業や課外活動で主体的に学び取ろうとする学びに向かう力を持っていること ・問題に直面しても諦めずに解決するための粘り強さを持っていること ・自己成長や他者への貢献を目指し、自己の人間性を高めていこうとする志向性を持っていること	○	○	○	20
	定期考査			○	○		2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	統計的な分析	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・基本的な統計的概念について正しく理解していること。 ・標本データの集計や要約統計量を計算できること。 ・母集団についての仮説を立て、適切な検定手法を選択し、検定を行うことができること。 ・回帰分析や相関分析などの応用的な手法を理解し、データの解釈や予測に活用できること。 ・統計ソフトウェアを使いこなし、データの分析や可視化ができること。 【思考力・判断力・表現力】 ・問題解決のために論理的に考えることができること。 ・データを分析し、結果を客観的に評価することができること。 ・結果を分かりやすく報告し、グラフや図表を活用して可視化することができること。 ・統計的な考え方を日常生活や社会問題に応用し、自己表現力を高めることができること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・統計学についての関心や興味を持ち、自己学習を積極的に行っていること。 ・自分の意見や考えを適切に表現し、他者の意見にも敬意を持って対応できること。 ・データや情報を適切に収集し、倫理的な観点から批判的に評価することができること。 ・統計的な手法を使って社会問題について考え、解決に向けた提言を行うことができること。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
							合計 58

年間授業計画

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科 数学 科目 数学基礎演習

教　科：　数学　　科　目：　数学基礎演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3　学年　必修選択

教科担当者：川畑

使用教科書：（ 完全攻略 高校生の基礎数学トレーニング・実教出版 ）

教科　数学　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

科目　数学基礎演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高校２年生までに学んだ数学の復習をしながら、数学を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	学び直した内容をもとに、数学をより深く捉えて事象を的確に表現し、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え、就職試験等自らの進路決定に数学を積極的に活用する態度の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	数の計算 比率と割合 文字式・整式の計算 乗法公式・因数分解 無理数の計算 方程式	○実数の演算 ○虫食い算 ○割合 ○整式の計算 ○乗法公式・因数分解 ○平方根の計算・分母の有理化 ○１次方程式・２次方程式 ・連立方程式	【知識・技能】 数の演算の計算ができる。指数法則や分配法則を用いて計算ができる。公式を理解し、展開や因数分解ができる。割合を理解している。平方根の計算ができる。いろいろな方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 少し複雑な式の計算を工夫して行うことができる。様々な平方根の計算を工夫して行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題集やプリントの問題を積極的に解く姿勢がみられる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		2
2学期	不等式 関数とグラフ 図形と角 平行線と線分の比 図形の面積・体積 三角比	○１次不等式・連立不等式 ○１次関数・２次関数 ○いろいろな図形の角度 ○平行線と線分の比 ○いろいろな図形の面積・体積 ○三角比	【知識・技能】 いろいろな不等式を解くことができる。関数の意味を理解することができる。いろいろな図形の角度を求めることができる。 【思考・判断・表現】 平行線の入った図形の比を利用して線分の長さを求めることができる。いろいろな図形の特徴を生かしながら、面積や体積を求めることができる。三角比を利用して、三角形の辺の長さや面積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題集やプリントの問題を積極的に解く姿勢がみられる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		2
3学期	集合と要素 場合の数と確率	○集合 ○場合の数 ○確率	【知識・技能】 集合の基本を理解することができる。場合の数や確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 少し複雑な場合の数や確率を工夫をしながら求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題集やプリントの問題を積極的に解く姿勢がみられる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		合計 46

年間授業計画

高等学校 令和7年度（３学年用） 教科　理科　　科目 化学演習

教　科： 理科　　科　目： 化学演習　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年　Ａ・Ｂ・Ｅ・Ｇ組選択

教科担当者：（Ａ・Ｂ・Ｅ・Ｇ組選択：石原）

使用教科書：（　　）

教科　化学演習　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　化学演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
平面内を運動する物体の運動と電気や磁気などについて、基本的な概念・原理・法則などを理解し、観察や実験などを通して科学的に探究する力を身に付ける。	予想、実験、考察という科学的な考え方を定着し、また、導き出した考えを的確に表現できる。	日常生活と物理との関連性に気付き、物理を学習する意義を理解させとともに、科学的な考え方や見方を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ・物質量と化学反応式についての実験などを通して，物質量，化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質量，化学反応式について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・酸・塩基と中和について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・酸化と還元について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・化学について主体的に関わり，見	・実験を通じて法則や性質等を学習する。	【知識・技能】 化学と物質についての実験などを通して，化学の特徴について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学の特徴について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関り，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	22
	定期考査なし						0
2学期	【知識及び技能】 ・炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・官能基をもつ化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・芳香族化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・炭化水素について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・官能基をもつ化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・芳香族化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・有機化合物について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	・有機化合物を合成する実験を通じて、物質の性質を学ぶ。	【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して，その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 有機化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化合物について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。				30
	定期考査なし						0

3学期	【知識及び技能】 ・炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・官能基をもつ化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 ・芳香族化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・炭化水素について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・官能基をもつ化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 ・芳香族化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・有機化合物について主体的に関わ	・有機化合物を合成する実験を通じて、物質の性質を学ぶ。	【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して，その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 有機化合物について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化合物について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査なし						0
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（３学年用）教科　　理科　　科目 物理演習

教　科： 理科　　科　目： 物理演習　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ G 組（F組除く）

教科担当者：（ A組：村上 ）（ B組：村上 ）（ E組：村上 ）（ F組：なし ）（ G組：村上 ）

使用教科書：（　　）

教科　理科　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　物理演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
平面内を運動する物体の運動と電気や磁気などについて、基本的な概念・原理・法則などを理解し、観察や実験などを通して科学的に探究する力を身に付ける。	予想、実験、考察という科学的な考え方を定着し、また、導き出した考えを的確に表現できる。	日常生活と物理との関連性に気付き、物理を学習する意義を理解させとともに、科学的な考え方や見方を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　様々な運動 【知識・技能】 ・剛体に働く力、平面の運動を理解する。 ・放物運動、円運動を理解する。 【思考・判断・表現】 ・図を用いて力と運動を表現、判断することができるようになる。 ・実験器具を正しく使用しつつデータを適切に解析することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・剛体に働く力と平面の運動については、力のつり合いと合成、力のモーメント、運動の法則の観点から理解をさせる。 ・放物運動と円運動については、斜方投射と空気抵抗がある場合の運動、等速円運動を理解させる。	【知識・技能】 ・複数の力を合成、分解することができる。 ・力のモーメントを求めることができる。摩擦力等で、剛体に働く力、平面の運動を求めることができる。 ・摩擦力で平面の運動を求めることができる。 ・斜方投射と空気抵抗のある場合の運動、円運動の観点から放物運動と円運動について求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・力と運動について、表現したり読み取ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力と運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出し	○	○	○	10
	定期考査						0
	【知識・技能】 ・運動量、万有引力を理解する。 ・単振動について理解する。 【思考・判断・表現】 ・図を用いて力と運動を表現、判断できるようになる。 ・実験器具を正しく使用しつつデータを適切に解析することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・運動量と力積、ケプラーの法則（万有引力）について理解させる。 ・単振動について、振り子を例に理解をさせる。	【知識・技能】 ・運動量と力積の関係、運動量保存、万有引力について理解し、用いることができる。 ・単振動について、振り子を例に働く力などを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・力と運動について、表現したり読み取ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力と運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

2学期	B　電界と電位 【知識・技能】 ・静電気と電場について理解する。 ・電位、電場の中の物体、コンデンサーについて物理的観点で理解する。 【思考・判断・表現】 ・図やグラフで電界と電位を表現したり読み取ることができるようになる。 ・電界と電位についてを理解し、説明することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電界と電位について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・静電気と電界については、電気量保存の法則、クーロンの法則、ガウスの法則などから理解をさせる。 ・電位、電場の中の物体、コンデンサーについては、静電気力による位置エネルギー、コンデンサーの直列と並列などの観点から、理解をさせる。	【知識・技能】 ・静電気と電界について、諸々の理論を用いて求めることができる。 ・電位、電場の中の物体、コンデンサーについて、学んだ内容を用いて求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・電界と電位について、表現したり読み取ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電界と電位について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。				15
	定期考査						0
	C　電気回路 【知識・技能】 ・電流、直流回路について、その法則などを理解する。 【思考・判断・表現】 ・図や回路図などを踏まえて理解し、それを説明、表現することができるようになる。 ・実験等のデータを分析、表現することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電流について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。 D　電流と磁界 【知識・技能】 ・電流と磁界の様子を理解する。 【思考・判断・表現】 ・図や回路図などを踏まえて理解し、それを説明、表現することができるようになる。 ・実験等のデータを分析、表現することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電流と磁界について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・オームの法則、キルヒホッフの法則を回路図と方程式で理解をさせる。 ・電流とは何たるかを既習の内容を発展させて理解させる。 ・磁界、電流の作る磁場、ローレンツ力について、図などを用いつつ理解をさせる。	【知識・技能】 ・電流、直流回路、磁場について、その法則などを理解して解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・電流とは何か、直流回路周りのことについてを説明することができる。 ・電流と直流回路について、実験等のデータを分析、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電流と直流回路について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。 【知識・技能】 ・電流、直流回路、磁場について、その法則などを理解して解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・電流とは何か、直流回路周りのことについてを説明することができる。 ・電流と直流回路について、実験等のデータを分析、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電流と直流回路について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。				14
	定期考査			○	○		1
3学期	【知識・技能】 ・電磁誘導について、理解することと、求めることができる。 ・交流と電磁波について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・概念などをとらえ、表現することができるようになる。 ・理解したことを説明することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電磁誘導と電磁波について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。	・誘導起電力、自己誘導と相互誘導、モーターの仕組みなどについて学び、求めさせる。 ・直流と交流、様々な電磁波、電磁波の利用などについて学び、それらを求めさせる。	【知識・技能】 ・電磁誘導について、誘導起電力、自己誘導と相互誘導、モーターの仕組みなどについて学び、求めることができる。 ・交流と電磁波について、直流と交流、様々な電磁波、電磁波の利用などについて学び、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・実験などを通し、電磁誘導と電磁波の概念を考え、表現することができる。 ・電磁誘導と電磁波について理解したことを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電磁誘導と電磁場について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（３学年用） 教科　保健体育　科目 必修体育

教　科：　保健体育　　科　目：　必修体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A 組～　G 組

教科担当者：遠藤・武富・山中

使用教科書：（　　）

教科　保健体育　の目標：

【知識及び技能】運動特性に応じた技能、社会生活における健康・安全について理解し、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考、判断し他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】継続した運動実践、健康の保持増進と体力の向上、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　必修体育　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通し、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性を理解し身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通じ、公正に取り組み協力し、自己の責任を果たし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	球技（ゴール型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バスケットボール ・個人的技術（シュート、パス、ドリブル） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	5
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バドミントン ・個人的技術（サーブ、スマッシュ） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	5
	水泳 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	クロール ・手足の動き、呼吸法、測定 平泳ぎ ・手足の動き、呼吸法、測定	【知識・技能】 手足の動きや呼吸を安定させて泳げる。 【思考・判断・表現】 泳法などの課題解決を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 技術の取得に積極的である。	○	○	○	8
2学期	水泳 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	バタフライ ・手足の動き、呼吸法、測定 背泳ぎ ・手足の動き、呼吸法、測定	【知識・技能】 手足の動きや呼吸を安定させて泳げる。 【思考・判断・表現】 泳法などの課題解決を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 技術の取得に積極的である。	○	○	○	8
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バレーボール ・個人的技術（サーブ、スパイク） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	12
3学期	球技（ゴール型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バスケットボール ・個人的技術（シュート、パス、ドリブル） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バドミントン ・個人的技術（サーブ、スマッシュ） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6 合計 50

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科　保健体育　　科目 必修選択体育

教　科：　保健体育　　科　目：　必修選択体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A 組～　G 組

教科担当者：池上・武富

使用教科書：（　　）

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】運動特性に応じた技能、社会生活における健康・安全について理解し、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考、判断し他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】継続した運動実践、健康の保持増進と体力の向上、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　必修選択体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通し、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性を理解し身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通じ、公正に取り組み協力し、自己の責任を果たし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	球技（ゴール型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バスケットボール ・個人的技術（シュート、パス、ドリブル） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バドミントン ・個人的技術（サーブ、スマッシュ） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6
	陸上競技 【知識及び技能】 記録と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	走り幅跳び ・助走と跳躍技術 ・測定方法 ターボジャブ投げ ・助走と投擲動作 １５００ｍ走 ・ペース配分と走フォーム	【知識・技能】 自己に適した動作や競技を行っている。 【思考・判断・表現】 課題に応じた練習を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題や目標に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
2学期	陸上競技 【知識及び技能】 記録と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	走り幅跳び ・助走と跳躍技術 ・測定方法 ターボジャブ投げ ・助走と投擲動作 １５００ｍ走 ・ペース配分と走フォーム	【知識・技能】 自己に適した動作や競技を行っている。 【思考・判断・表現】 課題に応じた練習を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題や目標に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バレーボール ・個人的技術（サーブ、スパイク） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	12
3学期	球技（ゴール型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バスケットボール ・個人的技術（シュート、パス、ドリブル） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バドミントン ・個人的技術（サーブ、スマッシュ） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6 合計 48

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科　外国語　科目　英語コミュニケーションⅡ

教　科：2　　科　目：英語コミュニケーションⅡ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　G　組

教科担当者：（A組：友金）　（B組：野澤）　（E組：友金）　（F組：野澤）　（G組：野澤）

使用教科書：（ VISTA English Communication Ⅱ　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】英語を読み、聞き、話し、書くうえで必要な文法、構文や語彙を身につける。また、言語背景にある文化や成り立ちについて知り、語学を切り口に日本以外のの文化や世界への興味・関心を醸成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語を読み、聞き、話し、書く中で適切な表現を知り、活用することができる。また題材に即した内容で、自分の考えを表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】未知の言語に対して間違いを恐れずに取り組むことができ、また語学がもつ曖昧さや複雑さに柔軟に対応し、他者との関わりに主体的で前向きな姿勢で臨んでいる。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の５領域を伸ばしていくうえで必要な文法事項を理解し、かつ必要な語彙を十分に身につけている。	まとまった文章を読んだり、学んだ文法事項や英単語から適切なものを選び組み合わせて単文を作る能力、また題材や指示に従って、まとまりのある文章を論理的に組み立てることができる能力を養う。	他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 英語の文型SVOCを理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解したbe動詞、一般動詞を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人	Lesson 1 World Dance performances SVOCの文型を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の文のSVOCを理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解したSVOCを用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○			○		○	○		1
	【知識及び技能】 英語の受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した一般動詞過去形を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人	Lesson 2 A piece of Cake ・受動態を理解する。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した受動態を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○			○		○	○		1
2学期	【知識及び技能】 英語の使役動詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形を用いてスポーツや過去の行動について相手に伝えられることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの面白さを再認識することができる。	Lesson 3 Quokka ・使役動詞を理解する。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の使役動詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 使役動詞を用いてQuokkaの行動について相手に伝得ようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の面白さを再認識しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○			○		○	○		1
	【知識及び技能】 英語の形式主語を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 形式主語を使いながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会におけるピクトグラムの役割を理解できる。	Lesson 4 Designing Stamps ・形式主語を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の形式主語を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 形式主語を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 社会における切手の役割を理解しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○			○		○	○		1

3学期	【知識及び技能】 英語の現在完了進行形し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了進行形と現在完了を使い分けながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界で活躍する人物や自然環境について考えを深めることができ	Lesson 5 Mont-Saint-Michel ・現在完了進行形を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の現在完了進行形を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了進行形と現在完了の意味を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界的な建造物について考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科　外国語　科目　英語演習Ⅱ

教　科： 2　　科　目： 英語演習Ⅱ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：甘利　朋子

使用教科書：（ Watching light 2024-2025（浜島書店）　　）

教科　外国語　の目標：

【知識及び技能】英語を読み、聞き、話し、書くうえで必要な文法、構文や語彙を身につける。また、言語背景にある文化や成り立ちについて知り、語学を切り口に日本以外のの文化や世界への興味・関心を醸成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語を読み、聞き、話し、書く中で適切な表現を知り、活用することができる。また題材に即した内容で、自分の考えを表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】未知の言語に対して間違いを恐れずに取り組むことができ、また語学がもつ曖昧さや複雑さに柔軟に対応し、他者との関わりに主体的で前向きな姿勢で臨んでいる。

科目　英語演習Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の５領域を伸ばしていくうえで必要な文法事項を理解し、かつ必要な語彙を十分に身につけている。また、あるトピックについて英文及びパワーポイントなどを使用し、プレゼンテーションができる能力を養う。	まとまった文章を読んだり、学んだ文法事項や英単語から適切なものを選び組み合わせて単文を作る能力、また題材や指示に従って、まとまりのある文章を論理的に組み立てることができる能力を養う。	他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 英語の文の現在完了形を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解したbe動詞、一般動詞を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人	Lesson 1　Avantgardey Lesson 2　American Football ・動名詞・不定詞を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の文の現在完了を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した現在完了を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 英語の動名詞、名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した一般動詞過去形を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人	Lesson3 Market in Okinawa Lesson 4 Cappadocia ・It is構文の用法・未来形を理解する。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した名詞を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1
2学期	【知識及び技能】 英語の関係代名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形を用いてスポーツや過去の行動について相手に伝えられることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの面白さを再認識することができる。	Lesson 5 The Hakone Ekiden Lesson 6 The Haka and the All Blacks ・接続時と同格の用法を理解する。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の関係詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 関係詞を用いて科学について相手に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 科学の面白さを再認識しようとしている。	○	○	○	8
				○			○		○	○		1
	【知識及び技能】 英語の名詞を修飾する分詞・受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞や受動態を使い分けながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における英語の役割を理解できる。	Lesson 7 Kawamura Yuki Lesson 8 The peaceful Sloth ・助動詞・不定詞の用法を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の分詞、受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞、受動態を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における英語の役割を理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○			○		○	○		1

3学期	【知識及び技能】 英語の比較を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞の意味を使い分けながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他国の文化について考えを深めることができる	Lesson 9 Unique Music, Gominzoku Lesson 10 The World Loves Anime ・接続詞の用法を理解する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の不定詞、比較を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞の意味を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 他国の文化について考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1 合計 48

年間授業計画

高等学校 令和7年度（３年選択用） 教科 家庭科　　科目 生活実践

教　科： 家庭科　　科　目： 生活実践　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年　ABEG組

教科担当者：石原久仁子

使用教科書：　実教出版　図説　家庭基礎７０７　　）

教科　家庭科　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ，家族・家庭の意義，社会とのかかわりについて理解を深め，それらにかかわる技能を身につけている

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする

科目　生活実践　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、自立した生活をおくるための基礎的な知識と技能および、生活を豊かにするための知識と技能を身につけている。	生涯を見通して，生活の中から課題を見出し，解決のための実践方法を思考する。実践を自己評価し，考察に基づいてさらに発展させ、生活を豊かにするための実践、表現に結び付ける思考力を身に付けている。	自立に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善する。自身の生活を充実させることに意義を見出し、家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。それを基に地域社会に参画しようとする意義を見出す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 被服製作実習 和服の平面構成 和洋服としての立体構成	甚平製作 上着（和服としての平面構成） ［使用教材・道具］ ミシン、アイロン、裁縫セット 甚平製作用教材セット	【知識・技能】 観点）和服の平面構成、技法を理解できる。 評価） 実習成果物の正確さ、実習技能、課題プリント 【思考・判断・表現】 観点）説明書を見て被服構成を理解し、製作することができる。あるいは説明を聞いて理解することができる。表現豊かに着装を行うことができる。 評価） 実習作業の経過観察、課題プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 観点）和の文化に興味を持ち、積極的に調べ、学ぶ姿勢が見られる。 将来の生活において、学んだことを生かすことを思い描き、楽しみを見出すことができる。 評価） 課題プリント、実習成果物の工夫、積極性、	○	○	○	26
	定期考査　なし						
2学期	A被服製作実習 B茶道体験 C調理実習	甚平パンツ（和洋服としての立体構成） 和小物　（巾着・袱紗等） 簡略なお点前 お茶のいただき方 日本の文化としての茶道理解 和食 洋食 エスニック 製菓 （生徒の興味関心に応じた課題設定）	【知識・技能】 観点）和服の平面構成と立体構成の技法の違いを理解できる。日本の文化として和服や茶道の歴史を捉える。調理技術を習得する。 評価） 実習成果物の正確さ、実習技能、課題プリント 【思考・判断・表現】 観点）説明書を見て被服構成や調理法を理解し、製作することができる。あるいは説明を聞いて理解することができる。食分野においては、他国との比較において、和食への理解を深めている。表現豊かに、着装、食の表現、点前を行うことができる。 評価） 実習作業の経過観察、課題プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 観点）食文化に興味を持ち、積極的に調べ、学ぶ姿勢が見られる。 将来の生活において、学んだことを生かすことを思い描き、楽しみを見出すことができる。 評価）	○	○	○	28
	定期考査　なし						

3学期	C　調理実習 D　和文化の振り返り	季節・行事食 製菓 （生徒の興味関心に応じた課題設定） 年間の学習内容を振り返る	【知識・技能】 観点）日本の文化として和食をとらえるとともに、多様な食文化との違いを学び、様々な調理技術を習得する。 評価） 実習成果物の正確さ、実習技能、課題プリント 【思考・判断・表現】 観点）説明書を見て調理法を理解し、作ることができる。あるいは説明を聞いて理解することができる。他国との比較において、和食への理解を深めている。食を豊かに表現することができる。 評価） 実習作業の経過観察、課題プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 観点）和の文化に興味を持ち、積極的に調べ、学ぶ姿勢が見られる。 将来の生活において、学んだことを生かすことを思い描き、楽しみを見出すことができる。 評価）	○	○	○	16
	定期考査　なし						
							合計 70